

校報 ねどる

岩出市立根来小学校
学校だより No.13
令和3年10月14日
文責：柏木



備えあれば憂いなし ある日突然…

全国に発令されていた、新型コロナウイルス関連の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除され、感染者数も一時期のことを考えれば随分減少してきました。しかし、完全に無くなったわけではありません。学校においても、今まで通り感染対策予防に取り組みます。あわせて、各ご家庭におかれても引き続き感染対策にご協力をお願いします。

それは突然やってきました。10月3日（日）の午後7時30分過ぎ、「和歌山市の紀の川にかかる六十谷水管橋の一部が崩落しました。この崩落に伴い、紀の川以北地域で今後断水する可能性があります。」和歌山市防災行政無線放送でこの情報を知りました。我が家は崩落した場所から近く、思い返せば夕方にヘリコプターが飛んでいました。家の周辺は特に普段の日曜の夜と何も変わっていませんでした。

そこで、まず行ったことは2点ありました。1点目は、情報を収集すること。テレビやインターネット等で和歌山市からの公式な情報を確認する。そして2点目は、水の確保です。幸い蛇口からは水が普通にでていました。時間の経過とともに分かったことは、断水する地域は和歌山市北部（紀の川以北）と限定されていること。わたしの住んでいる地域周辺では、徐々に断水が始まっていること。並行して、お風呂や洗濯機、鍋などに水をためていきました。幸いペットボトル数本備蓄がありましたので買い出しには行きませんでした。最終、断水が始まったのは翌日の夜でした。

今回改めて情報を収集するにあたり、SNS等で根拠のない情報も多くありました。公的な（情報源が明らかにしている）情報を確認・精査することが重要と感じました。それと、備えの重要性を改めて実感しました。水が出ないことで生活様式が一変しました。私も給水車のある近くの小学校まで水をいただきに行きましたが、20Lのポリタンクに水をいっぱい入れていただくと20kgになります。でもその水の量は、トイレ4回分だということ。歯磨きもコップ1杯ですませるなど、節水にも心がけました。今回は、車で数分走れば水が出たり、各地域から給水車が来てくれたりしていましたが、阪神淡路や東北の震災レベルとなるとそうはいきません。そのためにも、我が家でもポリタンクやミネラルウォーター、ラップや紙コップや紙皿など必要な物を揃えていかなければと話しています。

和歌山市内の対象地域の学校は、臨時休校や午前中だけの登校等の対応をして

いました。その中で、タブレットパソコンを持ち帰ってのオンライン学習もしたそうです。本校でも、9月末から持ち帰りを始めています。何も無い時から使うことで、有事の際に焦ることのないように備えをしていきたいと考えています。

今回の断水で、数十年前に行ったことのある銭湯が今も営業していたり、和歌山市内の温泉にゆっくり入浴したりできたこと。そして何より多くの人の援助を実感できたことは良かったと思っています。

ボランティアさんやゲストティーチャーとの結びあい、学びあい、支えあい



6年・家庭科（ミシン）



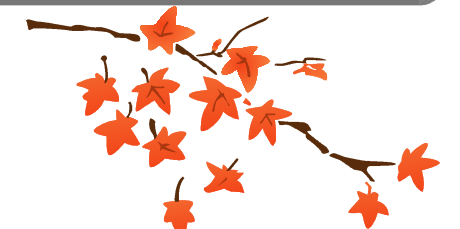
2年・いのちの授業



11月の主な行事予定

- 11月 1日（月）登校観察
- 2日（火）図書館司書来校
- 3日（水）文化の日
- 4日（木）マラソン前健診（希望者）
- 6日（土）7日（日）岩出市文化祭
- 9日（火）SC・図書館司書来校
- 10日（水）補充学習
- 12日（金）第2回学校運営協議会
- 16日（火）図書館司書来校・キッズサポート（2年・5年）
- 18日（木）はにわ作り
- 23日（火）勤労感謝の日
- 24日（水）手話教室（5年）
- クラブ活動（4・5・6年）
- 25日（木）26日（金）いなり寿司作り（5年）
- 30日（火）SC・図書館司書来校
- 漢字の博士試験（希望者）

行事につきましては、諸般の事情で変更する場合があります。



- 12月23日（木）個人懇談会（二者）
- 24日（金）二学期終業式